

2015年グローバル退職貯蓄サミットからの洞察

日本および海外での状況

サミットについて

経済情勢と人口動態の変化が、世界中の公的賦課方式年金制度の負担となっており、これが各国の年金制度改革につながっています。これは特に日本について当てはまる状況であり、急速な高齢化とまだら模様の経済成長が日本政府を一連の改革着手に駆り立てており、直近では確定拠出型年金制度（DC）が進んでいます。

こうした動向を考えると、東京はICIグローバルが、「グローバル退職貯蓄サミット：日本および海外での状況」を主宰するのにふさわしい場所でした。2015年4月23日に開催された本サミットでは、日本、米国および英国における退職貯蓄制度改革について検討が行われました。このサミットは、香港（2013年）、ジュネーブ（2014年）およびパリ（2015年）で開催されたグローバル退職貯蓄会議でICIグローバルが推し進めた議論を引き継いでいます。

東京サミットでの報告を文書化するために、ICIグローバルは会議後の報告書「グローバル退職年金サミットからの洞察：日本および海外での状況」を刊行しました。

会議後の出版物について

「グローバル退職貯蓄サミットからの洞察：日本および海外での状況」は、このサミットのプレゼンテーションとパネルの編集済み原稿を特集しており、以下に挙げる項目を含む様々な問題点に関する情報を提供します。

- » 日本の経済ならびに資産運用セクター
- » 日本、英国および米国の年金制度
- » 日本におけるDC改革
- » 英国および米国における自動登録やターゲットデートファンドの状況
- » 金融教育と行動経済学

報告書の初めの2章では、ICI社長兼CEOのポール・スコット・スティーブンス氏によるプレゼンテーションと、アジア開発銀行研究所所長で慶應義塾大学名誉教授である吉野直行氏による基調講演を取り上げています。

スティーブンス氏は開会のプレゼンテーションで、米国におけるDC制度と、この制度の成功において投資ファンドが果たしてきた役割について議論しています。吉野氏の基調講演は、日本経済、貯蓄文化ならびに資産運用業界の概要について論じています。

次の章では、日本、英国および米国のパネリストが、年金制度の設計ならびに改革に対する各国のアプローチについて意見を交わしたサミットの最初のパネルをまとめています。例えば、パネリストはセッション中、

米国および英国が加入率引き上げを成功させるために、いかに様々な方法で自動登録を活用したかを分析しました。また、パネリストは、関心を高めるうえでの行動経済学と金融教育の重視の度合いに、3か国間で差があることを調査しました。つまり、どの国も金融教育を拡大していますが、英国と米国は行動経済学にも依拠しています。

本報告書の最終章では、長期貯蓄に向けた適切な資産配分戦略に特化した、サミットの2番目のパネルを紹介しています。日本では、家計資産の60%が銀行預金です。このセッションでは、パネリストが、日本の貯蓄者の願望と分散されたポートフォリオ保有の必要性について議論しました。またパネリストは、英国と米国では、退職貯蓄者が貯蓄者の年齢に基づいて加入者の株式と債券配分を調整する投資ファンドに移行していることを考察しました。

これら各事例において、この3か国の様々な状況が興味深い洞察を提供しており、会議後の報告書でこのことを詳細に吟味しています。

全文をお読みにになりたい場合は、www.iciglobal.org/retirementpublicationsをご覧ください。

ICIグローバルについて

Investment Company Instituteの国際支部であるICIグローバルは、世界各地の管轄地の投資家に公に提供される規制ファンドを含むファンドの一角であり、その合計資産は19兆米ドルです。ICIグローバルは、規制投資ファンドやファンド運用者、投資家の共通利益を高め、また一般社会における理解を広めることを追及しています。政策目標は、金融安定、クロスボーダー規制、市場構造および年金規約などの分野において、ファンドにとって重要な問題点に焦点を当てています。ICIグローバルは、ロンドン、香港およびワシントンDCに事務所を構えています。

詳細について

2015年グローバル退職貯蓄サミットの資料（パネリストのスライド、スピーカーの経歴およびビデオ映像を含む）はすべて、www.iciglobal.org/grscから入手できます。

「グローバル退職貯蓄サミットからの洞察：日本および海外での状況」、またはグローバル長期貯蓄と退職に関するご質問は、退職方針担当アソシエイト・チーフ・カウンセルであるアンナ・ドリッグス (anna.driggs@iciglobal.org) までご連絡ください。



110 Bishopsgate, 19th Floor
Suites 19-06 and 19-07
London, EC2N 4AY
イギリス
+44 (0) 207 961 0830
www.iciglobal.org

Suite 715-717, Level 7
Two Exchange Square
8 Connaught Place
Central, Hong Kong
+852 2168 0882

1401 H Street, NW
Suite 1200
Washington, DC 20005
アメリカ
+001 202 326 5800
www.ici.org